

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1 経営健全化計画の令和元年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ① 平成 22 年 10 月 1 日から指定管理者制度を導入し、経営の健全化に向けた取組を実施してきた。
- ② 令和元年度においては、指定管理者による営業収益は 162,343 千円であり、計画額（385,000 千円）に及ばなかったが、一般会計からの繰入れ（159,707 千円）により資金不足が解消した。
- ③ なお、一般会計からの繰入れについては、平成 25 年度の計画変更後、計画と同額以上の繰入れを実施しており、これにより計画より 1 年前倒しで資金不足を解消することができた。

(2) 資金不足解消の状況

（単位：千円）

年度 区分	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	第 2 年度 (平成 22 年度)	第 3 年度 (平成 23 年度)
当初計画 A		98,216	64,200	▲144,581
解消実績額 B		43,911	▲6,909	91,870
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		▲54,305	▲71,109	236,451
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,147,569

年度 区分	第 4 年度 (平成 24 年度)	第 5 年度 (平成 25 年度)	第 6 年度 (平成 26 年度)	第 7 年度 (平成 27 年度)
当初計画 A	70,480	82,681	133,145	134,470
解消実績額 B	80,272	▲65,722	332,809	205,847
現在計画 C	—	—	—	—
B-A 又は C-A	9,792	▲148,403	199,664	71,377
資金不足額	1,067,297	1,133,019	800,210	594,363

年度 区分	第 8 年度 (平成 28 年度)	第 9 年度 (平成 29 年度)	第 10 年度 (平成 30 年度)	第 11 年度 (令和元年度)
当初計画 A	161,668	150,758	151,043	146,991
解消実績額 B	251,192	138,005	127,768	77,398
現在計画 C	—	—	—	—
B-A 又は C-A	89,524	▲12,753	▲23,275	▲69,593
資金不足額	343,171	205,166	77,398	—

年度 区分	計画最終年度 (令和2年度)
当初計画 A	147,247
解消実績額 B	—
現在計画 C	174,709
B-A 又は C-A	—
資金不足額	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		第2年度 (平成22年度)		第3年度 (平成23年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7	316.1

年度 資金 不足比率	第4年度 (平成24年度)		第5年度 (平成25年度)		第6年度 (平成26年度)		第7年度 (平成27年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	224.2	287.2	306.1	297.2	213.6	215.2	163.9	160.6

年度 資金 不足比率	第8年度 (平成28年度)		第9年度 (平成29年度)		第10年度 (平成30年度)		第11年度 (令和元年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	94.9	94.2	137.0	55.9	91.2	24.7	45.3	—

年度 資金 不足比率	計画最終年度 (令和2年度)	
	計画値	実績値
資金不足比率	—	—

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

利用料金制を採用することで指定管理者のインセンティブを高め、収益性を向上させる。また、魅力ある営業活動により収益増加を図る。

② 支出の削減に関する事項

施設・設備のコスト削減や修繕・投資等の将来への負担額を抑制する。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

平成 22 年より指定管理制度を導入し、運営しています。令和元年度において資金不足は解消しましたが、令和 2 年度中に保養センター美榛苑について、市全体の観光ビジョンの中で老朽化対策や今後の在り方の調査を行い、方針を決定したいと考えています。

福岡県小竹町 小竹町立病院事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の令和元年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 29 年度から救急輪番日数を増加することにより、救急患者の受入れを積極的に行い、入院患者数の確保に努めた。
- ・平成 29 年 2 月から一般名処方、後発医薬品使用体制加算を開始し、診療報酬単価の増加を図った。
- ・近隣医療機関等の非常勤医師報酬の調査を行い、平成 29 年 4 月から報酬の見直しを行った。
- ・平成 30 年 2 月に入院基本料 13:1 の届出、平成 30 年 5 月に地域包括ケア病床入院管理料(10 床)の届出を行い、診療報酬単価の増加を図った。
- ・令和元年度下期において、新型コロナウイルス感染症の影響による入院外来収益が減少したことにより現金不足が生じたため、町から長期借入金 1 億円の借入れを行った。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 28 年度)	平成 29 年度	平成 30 年度
当初計画 A		△ 85,116	△ 58,753	△ 8,134
解消実績額 B		△ 42,925	△ 14,037	13,997
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		42,191	44,716	22,131
資金不足額	105,247	148,172	162,209	148,212

年度 区分	計画最終年度 (令和元年度)
当初計画 A	43,033
解消実績額 B	68,365
現在計画 C	—
B-A 又は C-A	25,332
資金不足額	79,847

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成28年度)		平成29年度		平成30年度	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	22.9	45.9	32.1	43.5	33.3	31.8	30.2

年度 区分	計画最終年度 (令和元年度)	
	計画値	実績値
資金不足比率	18.2	18.0

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・入院・外来患者を対象に、病院満足度のアンケートを実施。
- ・経営健全化推進会議ほか院内における会議、ミーティングを実施し、職員の経営改善への意識改革に向けた取組を行った。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・大学医局等への訪問や人材紹介会社、他病院経由での紹介等により常勤医の確保と定着に努める。
- ・地域包括ケアシステムにおける役割を明確にし、他の医療機関、施設との連携を深め、外来患者の確保に努める。

② 支出の削減に関する事項

- ・効率的な職員配置を行うとともに、職員給与費の削減を継続する。
- ・後発医療品の利用拡大、的確な在庫管理による薬品費の適正化を進める。

③ その他

- ・繰出基準を基本とした一般会計からの計画的な繰入れを実施。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・院内全体で経営改善の取組意識を共有。
- ・経営状況の要因分析と対応策の検討を行い、改善事項の進捗状況を随時確認し、改善策については確実に実行する。